



【開催報告】

日本学術会議公開シンポジウム

「地域課題解決に挑む実践型アカデミー創設に向けて

－那須地域から始まる未来実装学アカデミー－

2024年10月26日、那須ハイランドパークイベント館にて、日本学術会議若手アカデミー主催の公開シンポジウム「地域課題解決に挑む実践型アカデミー創設に向けて－那須地域から始まる未来実装学アカデミー」が開催されました。本シンポジウムでは、未来社会の課題解決に向けて、多様なセクターを越えた共創プラットフォームを構築する重要性が議論されました。

シンポジウムは小野悠氏（豊橋技術科学大学准教授／連携会員・若手アカデミー代表）の開会挨拶で幕を開け、小宮山宏氏（株式会社三菱総合研究所理事長）の基調講演では、課題解決型社会を目指す「プラチナ社会の実装」の取り組みが紹介されました。その後、高瀬堅吉氏（中央大学教授／連携会員）と南澤孝太氏（慶應義塾大学教授／連携会員・若手アカデミー幹事）による「那須地域から始まる未来実装学アカデミー」のミッション・ステートメントが発表され、那須地域を拠点とした具体的な取り組みが共有されました。

2つのパネルディスカッションでは、各分野の専門家が登壇し、具体的な議論が行われました。第一部「未来実装学アカデミーの射程」には、神原咲子氏（神戸市看護大学教授／連携会員）らが参加し、学術と産業界、行政が連携するための具体的な方策が議論されました。第二部「地域課題解決の最前線に挑み、未来を切り拓く」では、近藤康久氏（総合地球環境学研究所教授／連携会員）のモデレーションのもと、武田秀太郎氏（九州大学准教授／連携会員・若手アカデミー未来を拓く学術イノベーション分科会委員長）らが登壇し、地域課題解決における多様な実践事例が共有されました。

閉会挨拶では、未来実装学アカデミーを拠点に、次世代のイノベーションを支える人材育成と新たな共創プラットフォームの構築に向けた決意が改めて表明されました。本シンポジウムは、那須地域を起点に、社会と学術が一体となって未来社会を切り拓く第一歩となる貴重な場となりました。



第一部パネルディスカッションの様子



第二部パネルディスカッションの様子



集合写真